



留学生の窓

多様な文化の国、ブラジル

初めて母国を出たとたん、外国人が抱いているブラジルのイメージに私はびっくりしました。なぜなら、国籍を問わず、出会った外国人は皆、ブラジルが単一文化の国だと思っていたからです。実際のブラジルは約500年の歴史や広大な面積があるため、地域によって文化が異なり、言葉にも微かな違いがあります。

ブラジルは大きく5つの地域に分けられます(地図参照)。北東部はポルトガルの植民地であったため、その文化や言葉を直接受け継いでいます。16～17世紀に移民の数が大幅に増え、アフリカからも奴隷が数多く連れてこられたため、ポルトガルとアフリカ各国の文化が交わり、独自の文化が発展してきました。そのきっかけとなったのは砂糖きびの栽培でした。北東部は赤道に近いので、砂糖きびの栽培に適しています。砂糖きびの収穫には多くの人手が必要で、そのために移民や奴隷の労働力が必要でした。ポルトガルは植民地開発にほとんど興味を抱きませんでした。そのため、現在でも北東部はブラ

ジルの一番貧しい地域だと言われています。

南東部は複数の国や民族の文化が交わったため、「南米の交差点」と呼ばれています。砂糖きびの栽培だけでなく、牧畜も盛んだため、経済的に発展しました。始め、西洋人は原住民にキリスト教を伝えるためにこの地域を探検しました。そこで宝石や金、銀などの貴金属が発見されたため、著しく開発されてきました。20世紀始めにコーヒーの栽培が始まり、移民が南東部にやってきました。やがて、イタリア人や日本人が数多く移民してきました。南東部で有名な都市は皆さんご存知のサン・パウロやリオ・デ・ジャネイロなどです。

南部は牧畜で有名です。国境やプラタ川での商売を守るために開発され、イギリスやフランスなどの侵入を防ぐために複数の拠点が作られました。しかし、当時の南部は人口が少なく、その目的を果たすのは不可能でした。そこで、政府は、イタリア、ドイツ、ポーランド、ウクライナ、アソレス諸島などか

ら多くの移民を受け入れました。南部は他の地域から離れていて交流が少ないため、独自の文化が発展しています。

中西部は鉱業や牧畜が盛んです。全国レベルの農業生産量を増やし、ブラジルを南米の他の国から守るために開発され始めました。1950年代にブラジリアが建てられ、ブラジルの新首都になりました。

最後に、北部はアマゾン熱帯林で世界的に有名です。ブラジルの中で一番人口の少ない地域です。国境を守るために開発されましたが、熱帯林のために開発は困難でした。この地域には原住民の集落が多いため、この地域は彼らの文化の影響を少なからず受けています。

このように、ブラジルは南米で一番面積が広く、複雑な歴史があります。ヨーロッパ、アフリカ、アジアなどからの様々な文化が交わり、独特の文化を持つ国が形成されてきたのです。



ブルーノ・エルクラノ

先端生命科学専攻
久恒研究室 修士課程2年

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/hisatsune-lab>



ブラジル北東部にあるフォルタレザの中央広場



サン・パウロ州のサントスの町並み



サントスの教会

ブラジルのクリスマス料理



ブラジル区分図